



●ワーク・ライフ・ミックスが切り開く女性の新しい働き方

「ハーモニー東海」交流会

11月29日、東海村産業・情報プラザ*アイビル*で、村が実施する男女共同参画推進事業「ハーモニー東海」の研修の一環として、歴代の「ハーモニー東海」研修生が集い、交流会が開催されました。この交流会は、これまで活躍してきた「ハーモニー東海」研修生の方々と交流する機会を設け、今までにはなかった新たなつながりを作るためと、現在活動している「ハーモニー東海」第17期生が企画・運営を行いました。さらに当日は、「子連れ出勤」という新しいワークスタイルを取り入れている有限会社モータハウス(つくば市)代表の光畑由佳さんを迎え、「ワーク・ライフ・ミックス」についての講演会が行われました。講師の光畑さんからは、同社本社や販売店で従業員が赤ちゃんを抱っこしながら働いていることや、女性が社会で活躍するためには、男性の後押しや理解が重要であるとの話があり、熱心に耳を傾けていた参加者たち。「女性だから子どもがいるからという理由で、自分自身で行動を制限してしまうことは確かにある。周りの環境を整えるだけでなく、女性自身がそのような壁を壊せるような考えを持ったり、周囲からの働き掛けができるようになったりすれば良いと感じた」など、参加者たちは女性の在り方について、新しい考えが生まれたようです。講演会後に行われた交流会では、子育てをしながら働く大変さや、職場での女性の立場など、気さくに話し合い有意義なひとときを過ごしていました。



●西川さん親子が、よい歯のコンクールで優秀賞

平成28年度「親と子のよい歯のコンクール」

11月13日、第25回「茨城県民歯科保健大会」において、西川由紀子さん・瑞姫ちゃん(村松)が「親と子のよい歯のコンクール」で、優秀賞を受賞しました。このコンクールは、生涯を通じた歯と口の健康づくりを目指した「8020・6424運動」(80歳で20本の歯を、64歳で24歳の歯を保ち、むし(64)歯にし(24)ないという県の歯科目標)の一環として行われているもの。お子さんの歯磨きには、仕上げ磨きを、自分の口のケアには丁寧にブラッシングをすることを心掛けているという西川さん。歯磨きが苦手な子どもがいる家族に向けて、「子どもに声を掛けながら、継続して磨くことが大切」と歯を磨くときのコツを教えてくださいました。私たちも、毎日欠かさず丁寧にブラッシングを行い、美しく健康な歯を持ち続けていきたいですね。



【写真左から】姉の莉菜ちゃん、母親の由紀子さん、瑞姫ちゃん

●“お互いさま”の精神を持って、職務に尽力

村職員3人を鳥取県北栄町に派遣

平成28年10月21日に発生した鳥取県中部地震により被害を受けた被災地支援のため、鳥取県北栄町に職員3人が派遣されました。村と北栄町は「地球環境を考える自治体サミット」に加盟しており、以前から親交があった中、北栄町からの職員支援の要請もあり、今回の派遣に至りました。3人は、12月5日から22日の3週間(1週間に1人)にかけて、罹災証明に係る被害認定調査業務等を行いました。被災地では、北栄町の職員のほか徳島市、松山市、東京都港区など多くの職員と共に業務に当たったという3人。被災地での任務を終え、「あらためて、いつ起こるか分からない災害に備え、準備をしておくことが大切である」と感じたといいます。北栄町をはじめ、被災地の一日も早い復興を心から願っています。



【写真左から】小宅成幸さん(下水道課)、所壮登さん(税務課)、坂本拓哉さん(環境政策課)